

枚方市議会議員 改革系無所属

地域配布版 第29号(通算120号)
平成27年3月発行

かじや知宏 ともひろ 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>46歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

人口減少社会に対応した新たな政治・行政の仕組みをつくっていきます

あしたの枚方のために 新しい政治への挑戦



◆市議会議員になって早くも4年の任期が終わろうとしています。組織・団体が既得権を守るために政治家を支援し、政治家は市民のためではなく支援団体のために活動をする。その結果、事業費や補助金などが必要以上に膨らみ、お金が足らなくなったら借金して将来に先送り。税金を使う側の意向で政治が行われ、税金を納める側の意向が政治に反映されない。こんな政治に疑問を持ち、選挙で必要とされる「地バン」「看バン」「カバン」もなく、ただ「志」ひとつで市議選に挑戦したのが8年前。一度落選を経験し、初当選は2度目のチャレンジでした。

◆議員が選挙の票のために地域や団体とつながり、その要求要望を行政に「口利き」してきた結果、国と地方の財政規模は税込以上に大きく膨らみ、借金は1000兆円を超えるまでになりました。

◆人口減少社会を迎え財政状況が厳しさを増す中、議員の活動も「利益誘導」から「事業の精査」へ、また有権者の意識も「挨拶や顔つなぎ」を基準に選ぶ政治から「政策や思い」を基準に選ぶ政治への転換が求められています。

◆今でも8年前の「志」は変わっていません。単に議員で居続けることが目的ではなく「政治を変える」という思いで活動をしています。この4年間「顔つなぎ」や「利益誘導」中心の活動とは一線を画し、議員本来の役割である市政のチェックに徹してきました。今後も、あしたの枚方のために「新しい政治」への挑戦を続けていきます。

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

今回の議員報告は、この4年間の私の市議会での取り組みについて掲載しています。なお、これまでの議会質問等の詳細については「かじや知宏のホームページ」に掲載していますのでご覧ください。この議員報告は、市政調査の目的で発行しています。枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の議員活動に生かしていきます。

すべての既得権を認めず、中長期的・全体的な視点で市政をチェック

私はこの4年間、議員本来の役割である「市政のチェック」に重点を置いて取り組んできました。市のお金の使い方や事業のあり方をチェックし、課題を指摘するとともに改善点を提案、改善が図られたかを再度チェックするというサイクルです。その際に意識していることは、人件費を含めすべての既得権を認めず、また短期的・個別的な視点だけでなく中長期的・全体的な視点を持つことです。しかし中長期的・全体的な課題は、すぐに改善・実現につながるものが難しいうえに、市民が自分自身の身近な問題として捉えにくいという点があります。そのため選挙の票につながらないことから、多くの議員は短期的・個別的な施策に力を入れるようになります。その結果が、必要以上に膨らんだ事業・補助金による財政悪化と、それに伴う借金の増加です。

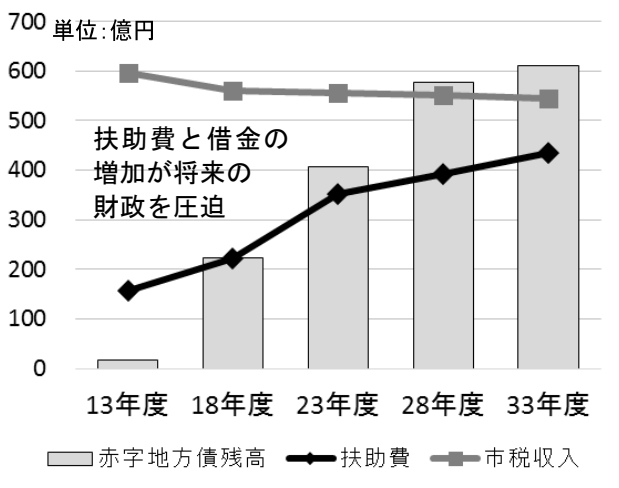
私は選挙の票や目先の実績だけを追い求め、市民にいい顔をするのではなく、あしたの枚方市のために必要だと思ふことは、一部の人に嫌われることも恐れず取り組んでいく覚悟です。すぐに結果は出なくても、粘り強く課題解決に取り組んでいくことで、必ず道は開けると信じて行動しています。

今回、市議会での1期4年間の取り組みの一部を総集編として掲載しています。実現に向けて動き出した施策もあれば、まだ道半ばの施策もあります。施策の実現には、方向性が近い方々との連携・協力が不可欠です。今後も多くの方々のお力をお借りしながら、あしたの枚方市のために全力で施策実現に取り組んでいきます。



行財政改革 人口減少社会に向け効果的・効率的な市役所運営を 民間活力の導入やムダな事業の廃止

<市税収入、扶助費、赤字地方債残高の推移>



※「枚方市長期財政の見通し(平成27年2月)」より

今後、人口減少・少子高齢化の進展により、市税収入の伸びは期待できない一方、扶助費（福祉関連経費）は年々増加していくことが予想されています。また、毎年の財源不足を補う赤字地方債の残高も増加し、将来世代の負担増が懸念されます。

このような状況の中、持続的発展が可能なまちとなるためには、行財政改革による効果的・効率的な

市役所運営は不可欠です。私は市の事務事業を精査し、民間に任せの方がサービス向上・経費縮減につながる事業や既に役割を終えた事業など、見直しが必要な事業について改善を提言してきました。

【主な指摘と提言】

- 赤字地方債の抑制
- 各種団体等への補助金・委託費の廃止・縮小
「人権まちづくり協会」「シルバー人材センター」「エフエムひらかた」「校区コミュニティ協議会」「勤労市民会」「朝鮮学校」など
- 民間活力の導入による市民サービスの向上とコスト縮減
「図書館と生涯学習市民センター等への指定管理者制度の導入」など
- 市有財産の有効活用
「国・府施設との合築による市庁舎の統合」など
- 市役所業務の効率化と職員の意識改革
「ペーパーレス化の推進」「SNSを活用した広報・広聴機能の充実」など



公正・公平な市政運営 労働組合などの既得権と闘います 労働組合への便宜供与など「えこひいき」を許さない

枚方市では、革新市政の時代から職員労働組合への不当な便宜供与が行われてきました。時代とともに少しずつ改善されてはいるものの、組合ぐるみで市長選挙や議員選挙に関与することで、いまだ多くの既得権が守られています。

また、地域に目を向ければ一部の校区コミュニティ協議会や自治会で「民主的な運営がなされていない」「組織を政治活動に利用している」「補助金の使途が不透明」などの問題が深刻化しています。

市政は公正・公平に運営されるべきで、一部の声の大きい人たちだけのものではありません。私は一切の既得権を認めず、公正・公平な観点で行政運営が行われているかをチェックするとともに、不当なものについては改善を市に提言してきました。

【主な指摘と提言】

■職員労働組合への便宜供与の見直し

「事務所の使用料徴収」「市役所での政治活動の禁止」「選挙活動目的での組合休暇取得の防止」など

■市長及び職員の公正・公平な職務執行の確立

「利害関係者による市長への寄付や供応の禁止」「市役所での『しんぶん赤旗』の勧誘・配布・販売についての調査の実施」など

■校区コミュニティ・自治会の民主的な運営の確立

「政治利用禁止・民主的運営のルール化」「補助金の収支状況をホームページで公開」など

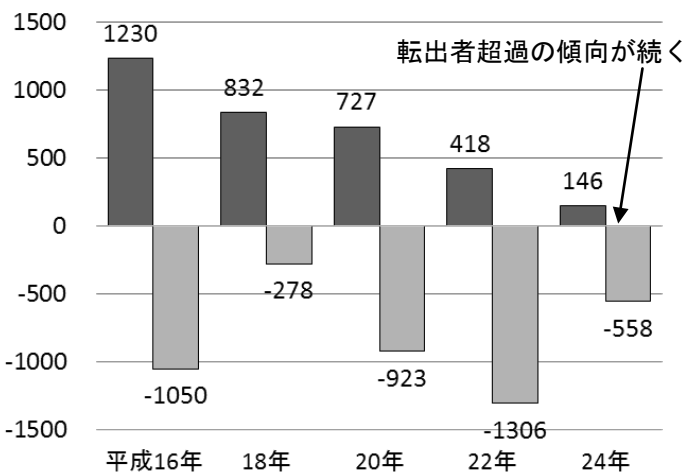
■情報公開の推進

「審議会の全面公開」「労働組合との交渉状況の公開」「市税の減免状況や金額の見える化」など



定住促進・人口誘導 ベッドタウンとしての都市の魅力向上へ 施策の「選択と集中」により現役世代へ重点投資

＜枚方市の人口動態の推移＞



■自然増減 ■社会増減

※枚方市人口推計調査報告書より

※自然増減＝出生児数－死亡者数、社会増減＝転入者数－転出者数

人口減少社会を迎え、定住促進・人口誘導を図り、転出による人口減を抑制することが急務です。特に地域の活力となる若い世代の定住促進は、安定した税収の確保に不可欠であり、持続的発展が可能な自治体となるための大きなカギとなります。

そのためには、施策の「選択と集中」による子育て

て支援・教育施策の充実など現役世代への重点投資をはじめ、安心・安全なまちづくりの推進など、ベッドタウンとしての都市の魅力を向上させることが必要となってきます。枚方市に「住みたい、住み続けたい」と、多くの方に思ってもらえるような施策の充実を提言してきました。

【主な指摘と提言】

■定住促進・人口誘導への戦略的展開

「シティプロモーションの促進」「転入、転出に関するアンケート調査の実施」など

■現役世代への重点投資

「待機児童の解消」「病児保育の拡大」「中学校給食の実施」「いじめ・体罰の防止」「通学路の安全対策の実施」「児童発達支援センターの整備促進」「若者の就労支援の促進」など

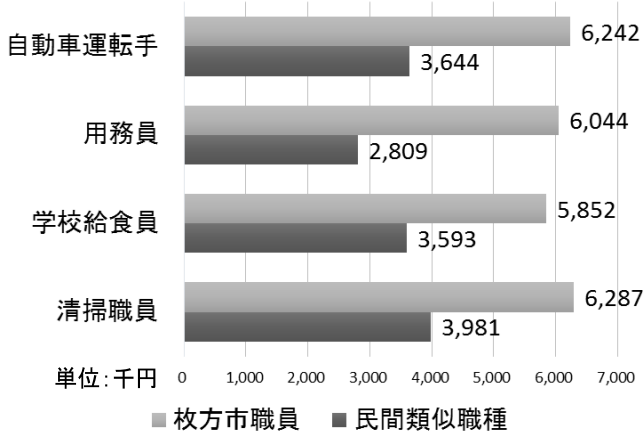
■安心・安全なまちづくり

「浸水対策の促進」「不活化ポリオワクチンの予防接種導入」「子宮頸がん予防ワクチンの接種の見直し」「成年後見制度の活用促進」など



人事・給与制度改革 公務員を「身分」から「職業」へ 給与水準の適正化と年功序列の打破

<市の技能労務職員と民間類似職種の給与比較>



※「枚方市人事行政の運営等の状況の公表(平成25年度)」より

市職員の給与は、民間企業と比べて高い水準にあります。市の人件費は約 200 億円もあることから、その適正化により大きな財政効果が見込まれます。

また、年功序列の給与制度により、上司と部下で年収の逆転現象が発生し、職員のやる気の低下が懸念されています。年功序列を打破し、頑張った職員が報われる給与制度への改革が必要です。

私は公務員を「身分」から「職業」へと変えるため、民間企業や先進自治体の事例を参考に、制度の抜本的な改革を市に提言してきました。

【主な指摘と提言】

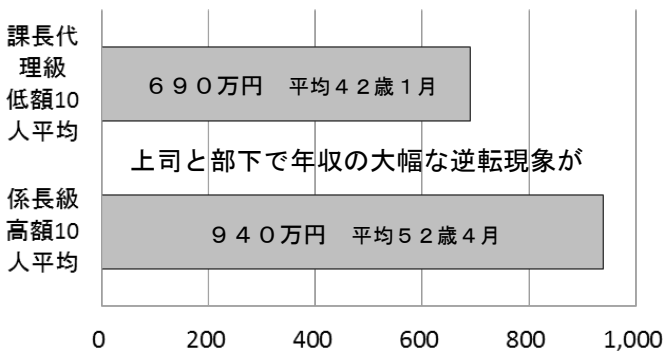
■給与制度の見直し

「民間企業の実態を反映した給与水準への見直し」「技能労務職員の給与水準の適正化」「年功序列から責任と処遇の一致する制度への改革」「高年齢職員の給与抑制」「時間外勤務手当の抑制」など

■人事制度の見直し

「相対評価による人事評価の実施」「民間企業経験者・専門職の採用枠の拡大」「管理職の公募」など

<課長代理級（管理職）と係長級の年収比較>



12月議会報告

市職員の給与、市長・市議会議員のボーナス引き上げが賛成多数で可決 ～私は会派の議員とともに引き上げに反対しました～

下記の理由から、私は「職員給与」「市長給与」「議員報酬」の3つの引き上げ案にすべて反対をしましたが、いずれも賛成多数で可決されました。給与・報酬の適正化については、既得権という大きな壁がありますが、今後もあきらめることなく「身を切る改革」に取り組んでいきます。

- 枚方市内の民間事業所と給与水準の均衡が図られているとは言えない
- 景気回復も道半ばで、賃上げの動きも一部の大企業だけで中小事業者にまで及んでいない
- 市長や市議会議員は、給与・報酬は独自に決めるべきで、職員に合わせて引き上げることはスジが通らない
- 財政状況が厳しい中、市民に負担をお願いする前に、市長・議員・職員がまず身を切る改革をする必要がある

活動の詳細についてはホームページをご覧ください

かじや知宏 ともひろ で 検索



携帯電話からブログ
をご覧になれます



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～550回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという思いから、駅前「議員報告」の配布を行っています。もし見かけられましたら、お気軽にお声掛けください。